

キャリアコンサルティングの仕組み

キャリアコンサルティングとは

「自分に何が向いているのかわからない」「もっとスキルアップしたい」・・・個人が自分自身の人生を考えると、仕事を切り離して考えることはできません。

キャリアコンサルティングとは、その個人にとって望ましい職業選択やキャリア開発を支援するプロセスのことです。

単に個人と職業のマッチングを考え、仕事を見つけるお手伝いをするだけではありません。人生で遭遇する様々な経験を積極的に受け止め、その人にとってより幸せな人生を描く成長の糧とするための支援です。それゆえ、情報提供やアドバイスは、キャリアコンサルティングにおける重要な支援の一つです。

キャリアコンサルティングの必要性

悪化する雇用情勢、成果主義への移行、人材の流動化、

雇用形態の多様化、ニート・フリーター・・・。

産業構造の大転換期を迎えている今、雇用環境も大きな変化に直面しています。今後さらに、雇用の流動化は本格化するでしょう。企業が個人を守ってくれる時代は過ぎ去り、自分自身の能力や経験を把握しながら、キャリアを形成していく自己責任の時代になりました。

人材の流動化時代

- ・ 終身雇用、年功序列の崩壊
- ・ 就業形態の多様化
- ・ 進路選択の多様化
- ・ 就職難、フリーター化
- ・ 急速な労働移動

しかし、その一方で自律したキャリアを支援する社会システムが日本ではまだまだ確立されているとは言えません。今こそ激変する環境の中で、個人の未来像を明確にし、企業の持つビジョンと一致させていく専門的なサポート体制、キャリアコンサルティングが必要不可欠となっています。

まさに個人の人生の岐路において様々な支援を与え、今後の方向を示唆していく専門家「キャリアカウンセラー」の存在が求められています。

キャリアカウンセラーとは

キャリアカウンセラーの仕事は適職の発見に止まりません。仕事に関する悩みは、その人の価値観・人生観と深く関わっています。キャリアカウンセラーは、キャリアコンサルティングを通して、クライアント(相談者)が自分自身と向き合い、自身の価値観・人生観を再発見し、自己理解を深める方向へ導くという役割を担っています。クライアント自身が自らの価値を見出し、「やればできる」という自己効力感を持って仕事に臨むまでの支援を行なうのがキャリアカウンセラーの仕事です。

キャリアカウンセラーは、個人の興味、能力、価値観、その他の特性をもとに、個人にとって望ましいキャリアの選択・開発を支援するキャリア形成の専門家です。

「就職」「転職」「再就職」「キャリア」などの課題を抱えているクライアント(相談者)の方に対して、キャリアカウンセリングを通じてその方が自分らしく生きいきとする仕事を見つけ、働けるように総合的にサポートしていきます。

※キャリアカウンセリングの分野において“**キャリア**”とは、「職業」「仕事」「進路」「経歴」、そしてその人の生活や生き方、生きがいなどを含めた「**仕事を中心とした人生**」そのものを意味しているのです。

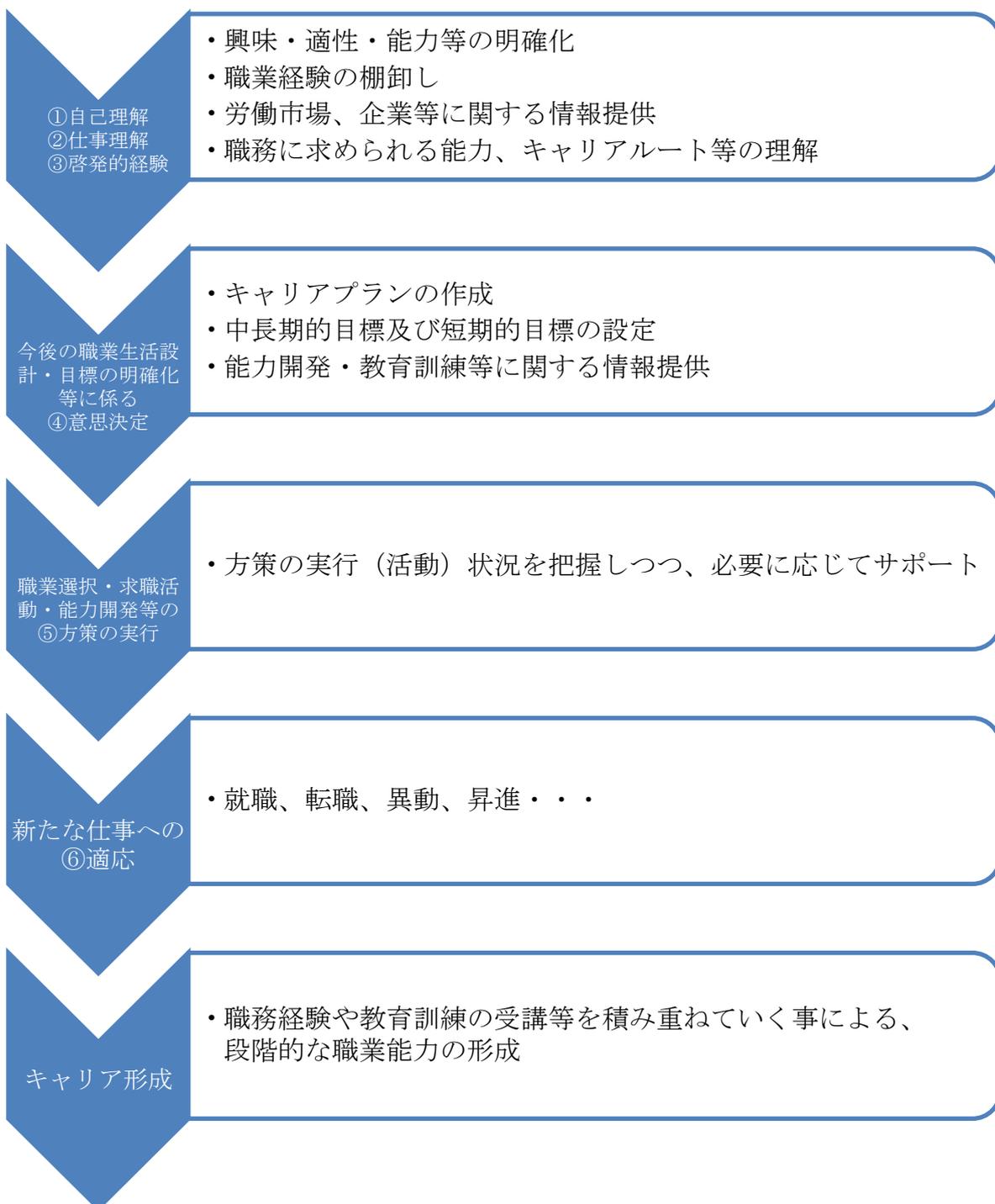
キャリアカウンセラーの仕事について

個人と社会の間に立ち、仕事を中心とした人生を
ひとが生き生きと過ごせるようお手伝いをする仕事

- 1.社員の価値観、興味、能力（したい仕事・できる仕事）を明確にする
- 2.企業がおかれている環境とそれがどのように個人に影響するか客観的な情報を伝達する
- 3.個人の特性と環境を考え合わせ、最適な職務を社内（場合によっては社外も含む）で検討する
- 4.目指す職務に就くために必要な経験や教育訓練についてアドバイスする

「キャリアコンサルティング」の流れ

「キャリアコンサルティング」の中心となる個別相談は、おおむね以下のような流れで実施されています。



クライアント（相談者）の相談事例

- 自分の適職・強みが分からない、知りたい
- 転職、再就職を考えている、その必要がある
- 自分のキャリアの見直し、ステップ・アップをしたい
- 今後の働き方や将来について考えている
- 職業や資格などの情報収集をしたい
- 家庭と両立できる範囲で仕事復帰をしたい
- 将来の夢や職業が定まらず、自信が持てない
- 面接がうまくいかない、採用が決まらない
- 就職活動のノウハウや秘訣を知りたい